

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

## 1 組織概要

所在地	〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚3-1-28 市役所別館3F
TEL	06-6858-8811
FAX	06-6858-8801
URL	http://www.tium-toyonaka-osaka.jp
e-mail	tium@tcct.zaq.ne.jp
設立	2007年4月1日
設置都市等	大阪府豊中市
代表者	上野 晴彦(所長)

## 2 組織動向

<b>(1) 沿革</b>		
設置経緯	1997年度に任意団体として「豊中市政研究所」が設立された。	
見直しの動向	2007年度に市の内部組織に組み込まれ、市の都市政策に関する調査研究を担う機関となった。	
役割(2016年時点)	<input type="radio"/> 調査研究 <input type="radio"/> 普及啓発 <input type="radio"/> データバンク <input type="radio"/> 人材育成	
<b>(2) 組織体制</b>		
設置形態(択一)	<input checked="" type="radio"/> 1 自治体の内部組織 <input type="radio"/> 2 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="radio"/> 3 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="radio"/> 4 大学の附置機関 <input type="radio"/> 5 広域連合 <input type="radio"/> 6 その他(具体的に: )	
常勤職員数	2人	
うち常勤研究員数	1人	
非常勤研究員数	3人	
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部有識者の活用(1を除く) <input type="checkbox"/> 3 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 4 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 5 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない	
庶務体制	研究所内にて行っている。	
市民参加、外部連携	なし	
<b>(3) 会計</b>		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2016年度決算	4,373 千円	
2015年度決算	10,560 千円(内 創生法関連経費 8,400千円)	
2014年度決算	4,319 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	1. 設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

### 3 活動動向

(1) 活動実績		
	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	豊中市の地域経済構造分析に関する調査研究	人口の減少などの社会環境の変化が豊中市の経済にどのような影響を与えるのかについて、本市の経済のモデルとデータから明らかにし、豊中市の主要な産業の可能性と課題について考察を行った。また、大阪国際空港の経済波及効果など、豊中市にどのようなインパクトをもたらすかを調査研究した。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp</a>
	南部地域の活性化に向けた調査研究Ⅰ	豊中市の南部地域は現在、市内でも顕著な人口減少と少子高齢化が進行している。そのような地域の活性化を図るためには、どのような取り組みが求められるのか。既存の統計資料等の整理や、大阪音楽大学の学生や若い世代を対象とした質問紙調査の分析から、南部地域の活性化に向けた方向性について検討した。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp</a>
	公共データの活用のあり方に関する調査研究	市が保有する「公共データ」を今後の施策に有効活用するための方策として、オープンデータや庁内でのデータ共有について検討したほか、平成27年度の調査研究「総合計画等の見直しにかかる基礎調査」の中で実施した「まちづくりのための市民意識調査」の結果などを活用したデータ分析を行った。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp</a>
過去3年間の研究実績 (成果物ベース)	<2015年度> ○豊中市の財政構造に関する調査研究Ⅱ ○総合計画等の見直しにかかる基礎調査	
	<2014年度> ○豊中市の財政構造に関する調査研究 ○少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する調査研究Ⅲ ○豊中市・沖縄市の都市間交流の新たな展開に関する調査・研究	
	<2013年度> ○豊中市の活力・魅力づくりに関する調査研究Ⅲ ○交通整備に伴う人口構成の変化の調査～豊中市庄内地区を事例として～Ⅱ ○少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する調査研究Ⅱ	
定期刊行物	○機関誌(年度1冊刊行) ○研究報告書	
(2) 活動のマネジメント状況		
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 2 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 3 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 4 貴団体・組織で自ら発案(3を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他(具体的に: 全庁的な課題調査結果と専門家、市民等からなる運営委員会の助言を参考にしながら、本研究所で設定する。)	
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 2 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 3 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 4 報告会を実施する <input type="checkbox"/> 5 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない	
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 2 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 3 外部有識者から評価を受けている(2を除く) <input type="checkbox"/> 4 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 6 特にそういう機会はない	

#### 4 特記事項

研究員の業務分担	各々が調査研究を行うとともに、情報発信、人材育成、関係機関との調整など年度毎に業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	関係機関の学会等への加入や研究アドバイザーによる研究の助言、シンポジウム等の参加により専門性を高めている。
研究員のキャリアパス等	○常勤職員については人事異動、非常勤職員については論文と面接により選考。 ○キャリアパス例(常勤職員) ・広報広聴課→当研究所→職員研修所
その他	—